



Amir Tsarfati

[死者は見る (THE DEAD SEE)]



ここは間違いなく、地球上でもっとも魅力的な場所の一つです。ここはまた、地球という惑星の「地表で最も低い場所」という肩書きを持ち、そしてまた、ここは世界で三番目に塩分濃度の高い湖です。湖水の塩分濃度は 33%、私の周りに塩の層がはっきりと見えます。それで、ここがヘブライ語で יַם הַמֶּלַח (ヤム・ハメラハ：塩の海) と呼ばれる理由がお分かりでしょう。興味深いことに、アラブ人はここを اَلْبَحْرُ الْمَيِّتُ (アル・バハル・マイト) 「死海」と呼びます。そして英語では「Dead Sea」(死海)。おそらく、死ぬことなく、死に最も近づける唯一の場所は死海でしょう。私がこのメッセージをこのように始める理由は、アダムとエバは、決して死ぬように創造されたのではないからです。死は、人間に対する、神の計画ではありませんでした。

この場所はかつて、世界中で最も優れて、広大で、最も緑豊かな地域の一つでした。はるか創世記に遡ると、13 章、エジプトから帰る途中のこの場所で、アブラハムとロトは、もう一緒にいることができないと実感していて、ロトとアブラハムは別れなければならないことが明らかでした。そこで、紳士であるアブラハムはロトに言いました。「何でも、あなたの好きな方を取りなさい。

9 …もしあなたが左に行けば、私は右に行こう。もしあなたが右に行けば、私は左に行こう。」

(創世記 13:9 参照)

そしてロトは、この特定の場所を選びました。聖書は、創世記 13 章 10~12 節で、次のように告げています。

10 ロトが目を見てヨルダンの低地全体を見渡すと、主がソドムとゴモラを滅ぼされる以前であったので、その地はツォアルのほうに至るまで、主の園のように、またエジプトの地のように、どこもよく潤っていた。

11 それで、ロトはそのヨルダンの低地全体を選び取り、その後、東のほうに移動した。

(創世記 13:9~11a)

これは、私たちが今いる場所です。私たちは国の最東端にいます。ですから、はっきりと分かる通り、この特定の場所を、ロトは選択したのです。避難場所ではありません。選ばれた場所です。そして、聖書からはっきりと分かる通り、アブラハムは西のネゲブ、別の砂漠地帯へ上がり、ロトは、この美しい場所を選びました。それから、聖書が非常に明確に示している通り、私たちはソドムとゴモラの地域にいます。しかし、聖書は告げています。

10 …主がソドムとゴモラを滅ぼされる以前であったので…

(創世記 13:10)

そこは美しく、緑豊かで肥沃でした。

そして何が起こったのか、私たちは皆、知っています。19 章では、ここに関する異なる話を伝えています。

- 24 そのとき、主はソドムとゴモラの上に、硫黄の火を天の主のところから降らせ、
25 これらの町々と低地全体と…



これは、私たちが今いる低地です。

- 25 …その町々の住民と、その地の植物をみな滅ぼされた。

(創世記 19:24~25)

それで、私たちがいるこの場所には、ほとんど植物が残っていないのです。すべてが破壊され、すべてが燃え、すべてが荒れ果て、すべてが死にました。だから、この場所は、死と結び付けられているのです。

創世記の初めまで遡れば、私たちは理解することができます。初め、

- 27 神は人をご自身のかたちとして創造された。

(創世記 1:27a)

神は永遠の存在で、神は死ぬことはありません。だから、その似姿に創造された彼らも同様でした。彼らは死ぬようには意図されておらず、彼らは永遠の存在として創造されました。

死は、人間に対する神の計画ではありません。それは非常に明確でなければなりません。

死は、実際、神が私たちに警告したものでした。主は言われました。

「この、一つのことだけはしてはいけない。これがあなたがたを死に至らせる。」

創世記 2 章 16~17 節。

- 16 神である主は人に命じられて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。
17 しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。

あなたがたは悪にさらされてはいけない。あなたがたは、悪が何であるか知る必要はない。

あなたはそれに関わる必要はない。そこに行くてはいけない！

それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。」

(創世記 2:16~17)

神は、良い父親のように仰います。

「それに触れてはいけない。それに触ると死んでしまうから。」

では、神は、人が死ぬことを望まれたのか？もちろん違います！主は実際に、アダムに仰いました。

「聞きなさい。あなたがわたしに反抗し、わたしがあなたに、してはいけないと言ったことを、あなたがしなければ、死は入り込めない。それだけだ。ただ、わたしに従いなさい。そうすれば大丈夫。」

死は、人間に対するサタンの計画でした。創世記 3 章 4~5 節。

- 4 そこで、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。
5 あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」

(創世記 3:4~5)

サタンは言いました。

「心配するな。お前たちは死なない。しかし、お前たちがそれを食べると、神のようになる。」

“神”の定義は何か? 「善悪を知るようになる」神は善悪をご存じです。そして、アダムとエバがそこに行くことを神が望まなかった理由は、彼らがそれに苦しまず、彼らがそれによって汚染されないためです。人が知識を持つことを、神が嫌がっておられるではありません。神は、人々が悪の知識を持つことを望んでおられないのです。そして、まさにそれが問題です。創世記 3 章 19 節、彼らがそれを食べた事で、何が起こりましたか? その時、死が世に入りました。ここは、神が「とても良い」と仰った場所です。それが今、神は人間に言われます。

19 あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る。あなたはそこから取られたのだから。あなたはちりだから、ちりに帰らなければならない。

(創世記 3:19)

なんと悲しい… 本当に残念な事に、死が世に入りました。

ところで、まだ 3 章しか行っていないのに、それは、ますます悪化する一方です。だから、ローマ 6 章 23 節は告げているのです。

23 罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

(ローマ 6:23)

言い換えれば、元々約束されていた永遠の命を得る方法があります。箴言 10 章 16 節 も告げています。

16 正しい者の報酬はいのち。悪者の収穫は罪。

(箴言 10:16)

このように、罪は、恥と言いつつももたらしました。創世記 3 章 8~10 節を見れば、はっきりと分かります。

8 そよ風の吹くころ、彼らは園を歩き回られる神である主の声を聞いた。それで人とその妻は、神である主の御顔を避けて園の木の間に身を隠した。…

彼らは恥じていました。

8 …園の木の間に身を隠した。

9 神である主は、人に呼びかけ、彼に仰せられた。「あなたは、どこにいるのか。」

10 彼は答えた。「私は園で、あなたの声を聞きました。それで私は裸なので、恐れて、隠れました。」

(創世記 3:8~10)

このように、恐れ、恥、罪悪感… 全ては、彼が知らなかったはずのことを、今彼らが知ったためです。そして、罪は、欺瞞と嘘をもたらしました。なぜなら次の章、4 章で、

8 しかし、カインは弟アベルに話しかけた。「野に行こうではないか。」そして、ふたりが野にいたとき、カインは弟アベルに襲いかかり、彼を殺した。

(創世記 4:8)

世の歴史上最初の殺人です。

- 9 主はカインに、「あなたの弟アベルは、どこにいるのか」と問われた。カインは答えた。
「知りません。私は、自分の弟の番人なのではないでしょうか。」

(創世記 4:9)

彼は嘘をつきました。欺き、嘘はその直後にやって来ます。真実を隠す。

- 10 そこで、仰せられた。「あなたは、いったいなんということをしたのか。聞け。あなたの弟の血が、その土地からわたしに叫んでいる。
11 今や、あなたはその土地にのろわれている。その土地は口を開いてあなたの手から、あなたの弟の血を受けた。
12 それで、あなたがその土地を耕しても、土地はもはや、あなたのためにその力を生じない。あなたは地上をさまよひ歩くさすらい人となるのだ。」
13 カインは主に申し上げた。「私の咎は、大きすぎて、にないきれません。
14 ああ、あなたはきょう私をこの土地から追い出されたので…

(創世記 4:10~14a)

そしてカインの言葉を見てください。

私はあなたの御顔から隠れ…

(創世記 4:14b)

…見てください。聖書の中で最も悲しい箇所です。

- 16 それで、カインは、主の前から去って…

(創世記 4:16)

分かりますか？これが、本当の死です。本当の死とは、霊的な死、神からの分離で、カインは、主の前から去りました。



では、創世記の旅の5章に進みましょう。そして、ここに書かれている事を見てください。驚愕です。ここにはアダムの系図が書かれていて、このように告げています。

- 1 これはアダムの歴史の記録である。神は人を創造されたとき、神に似せて彼を造られ…

(創世記 5:1)

神は仰います。ご覧なさい。わたしがあなたを創造したとき、あなたは、わたしの似姿だったのだ。

- 2 男と女とに彼らを創造された。

わたしがあなた方を創造した時、あなたは男と女だった。

彼らが創造された日に、神は彼らを祝福して、その名を人と呼ばれた。

主は仰います。これが人類のすべてだ。

- 3 アダムは、百三十年生きて、彼に似た、彼のかたちどおりの子を生んだ。…

(創世記 5:2~3)

アダムは、彼に似た、彼のかたちどおりの子を生んだ…そういう事です。アダムとエバは神に似ていて、神の似姿でした。しかし、何かが悪れ、罪が入り、何かが悪され、何かが悪減少し、何かが悪完全に間違っ、そして今、その瞬間から、もはや人類は、神の似姿ではありません。罪があるため、それは出来ません。主の神聖さから、私たちを隔てるものがあるのです。だから、セツはアダムに似ていて、アダムのかたちどおりでした。



そして、聖書全体の中で最も悲しい章が来ます。実際、今から読むこの箇所を読むたびに、私は悲痛な思いになります。

5 **それで主は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾くのをご覧になった。**

(創世記 6:5)

神は仰います。問題は、彼らの行いだけではなく、彼らの考える事であって、彼らの思いを駆け巡るもの、全てが常に邪悪だ。彼らは盗み、殺し、強姦する事を望み、彼らは、それらを実行する前から、心の中にさえ、非常に多くの墮落がある。主は言われます。それが一時として止まる事なく、いつも悪いことだけに傾いている。

6 **それで主は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。**

(創世記 6:7)

6章に到達すると、状態はどんどん、どんどん悪化する一方で、ついに、神は仰います。

「地上に人を造ったことを悔やむ！」そして見てください。「心を痛められた。」人間は創造の代表作でした。なのに、人間の墮落が、神を悲しませます。

7 **そして主は仰せられた。「わたしが創造した人を地の面から消し去ろう。人をはじめ、家畜やほうもの、空の鳥に至るまで。わたしは、これらを造ったことを残念に思うからだ。」**

(創世記 6:7)

皆さんは、これで終わりだと思うでしょう。「よし、終わりにしよう。」「それまでだ！これで聖書は終わりだ。」しかし、興味深いことに、6章8節は言います。

8 **しかし、ノアは、主の心にながっていた。**

(創世記 6:8)

神は常に探しておられます。

「善を行う者はいるか？」「わたしは、あなた方をここに留めておく理由が必要だ。」

8 **しかし、ノアは、主の心にながっていた。**

(創世記 6:8)

コヘレトの言葉 (伝道者の書) 3章 1~2節、

- 1 天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。
- 2 生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。植えるのに時があり、植えた物を引き抜くのに時がある。
(コヘレトの言葉<伝道者の書>3:1~2)

つまり神は基本的に仰っているのです。

「死は定まっている。」「それは起こらなければならない。」

死は、元々、計画されたもので無くても、今、死は、私たちの人生の一部であって、それを免れる事も、それから逃げることもできません。死は、アダムの時代以降存在して来た、すべての人を待ち受けています。

1950年代、最も敬愛された国連事務総長の一人ダグ・ハマーショルドは、スウェーデン人で、聖書を信じる非常に聡明な人でした。彼の名言がたくさんありますが、彼の言葉を聞いてください。

「結局のところ、私たちが人生を通して抱くあらゆる疑問の答えは、私たちの死に対する概念によって決まる。」

死の概念が、基本的に、私たちの人生を決定する。コヘレトの言葉7章1~2節は、次のように述べています。

- 1 良い名声は良い香油にまさり、死の日は生まれる日にまさる。
- 2 祝宴の家に行くよりは、喪中の家に行くほうがよい。
そこには、すべての人の終わりがあり、生きている者がそれを心に留めるようになるからだ。

(コヘレト7:1~2)

それは、すべての人の終わりです。それを逃れようと試みる事は出来ませんが、何の役にも立ちません。

それは、すべての人の終わりです。

コヘレトの言葉3章11節、

- 11 神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。
しかし人は、神が行われるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。

(コヘレト3:11)

永遠は私たちの心の中にある。つまり、人は心のどこかで知っているのです。自分が永遠であること、死後、何かがあるという事を。さもなければ、何もないのに、なぜそんなに恐れるのですか？しかし、何かがあることを知っていれば、疑問に思うでしょう。「それは何だろう？」コヘレトの言葉12:7、

- 7 ちりはもとあつた地に帰り、霊はこれを下さった神に帰る。

(コヘレト12:7)

言い換えれば、分離があることを、我々はすでに知っているのです。埋葬される体と、埋葬できない魂とは別ものです。なぜなら、魂は破壊されず、死ぬことも出来ませんから。私たちの魂は永遠です。

だから、問題は、場所！場所！場所です！あなたの魂は、どこに行きますか？

ダニエルでさえ知っていました。体と魂は死に際して分離される。聖書で、御使いがダニエルに言っています。

- 2 地のちりの中に眠っている者のうち、多くの者が目をさます。ある者は永遠のいのちに、ある者はそしりと永遠の忌みに。
- 3 思慮深い人々は大空の輝きのように輝き、多くの者を義とした者は、世々限りなく、星のようになる。

(ダニエル書 12:2~3)

復活があります。問題は、どちらの復活に参加したいか？旧約聖書にある用語を見てください。旧約聖書では、死んだすべての人は、どれだけ正しくても、どんなに邪悪であっても関係なく、皆、下に行かなければなりません。次の聖句を見てみましょう。創世記 37 章 34 節。

- 34 ヤコブは自分の着物を引き裂き、荒布を腰にまとい、幾日もの間、その子のために泣き悲しんだ。彼の息子、娘たちがみな、来て、父を慰めたが、彼は慰められることを拒み、「私は、泣き悲しみながら、よみにいるわが子のところに“下って”行きたい」と言った。こうして父は、その子のために泣いた。
(創世記 37:34~35)

方向は明確でした [下]。民数記 16 章 33 節。

- 33 彼らとすべて彼らに属する者は、生きながら、よみに下り、地は彼らを包んでしまい、彼らは集会の中から滅び去った。
(民数記 16:33)

旧約聖書の時代は、すべての魂がヘブライ語で「**קִינּוּ** (シェオール)」という場所に下りました。非常に興味深いことです。詩篇 49 篇は言います。

- 8 —たましいの贖いしろは、高価であり、
永久にあきらめなくてはならない—
9 人はとこしえまでも生きながらえるであろうか。
墓 [シェオール]を見ないであろうか。
(詩篇 49:8~9)

では、イエスの時代の前のシェオールについて私たちが知っている事は何でしょうか？

では、第一サムエルを見てみましょう。サウル…この話を見れば、人は死んでも、まだ魂で生きている事が理解出来ます。ご覧ください。サウルは、まもなく自分がギルボア山のペリシテ人との戦いに行く事を知り、その結果を恐れて、すでに死んでいた預言者サムエルに会いたくなります。

- 8 サウルは、変装して身なりを変え、ふたりの部下を連れて、夜、その女のところに行き、そして言った。
「霊媒によって、私のために占い、私の名ざす人を呼び出してもらいたい。」
9 すると、この女は彼に言った。「あなたは、サウルがこの国から霊媒や口寄せを断ち滅ぼされたことをご存じのはずです。それなのに、なぜ、私のいのちにわなをかけて、私を殺そうとするのですか。」

彼女はそれが他の誰かだと思い、それがサウル自身だと知りません。そして、サムエルが生きている限り、サムエルは、そういった事を行うのを認めませんでした。だから、王としてサウルは、これらのことのすべてを禁止しました。それが今、彼女は混乱し、彼女は考えています。

「ちょっと待って、これは罠のようだわ。」
そして、聖書は言います。

- 10 サウルは主にかけて彼女に誓って言った。「主は生きておられる。このことにより、あなたが咎を負うことは決してない。」
11 すると、女は言った。「だれを呼び出しましょうか。」

誰を呼び出し (英語: bring up) しましょうか？下に居る、どの人に、あなたは会いたいのですか？

サウルは言った。「サムエルを呼び出してもらいたい。」

12 この女がサムエルを見たとき、大声で叫んだ。そしてこの女はサウルに次のように言った。

「あなたはなぜ、私を欺いたのですか。あなたはサウルではありませんか。」

13 王は彼女に言った。「恐れることはない。何が見えるのか。」この女はサウルに言った。「こうごうしい方が地から“上って来られる”のが見えます。」

14 サウルは彼女に尋ねた。「どんな様子をしておられるか。」彼女は言った。「年老いた方が上って来られます。外套を着ておられます。」

彼女は、サムエルを見ました！彼女は、年老いた彼が、預言者の外套を着ているのを見て、間違えようがありません。

サウルは、その人がサムエルであることがわかって、地にひれ伏して、おじぎをした。

15 サムエルはサウルに言った。「なぜ、私を呼び出して、私を煩わすのか。」

「私を煩わす」サムエルは、あの休憩所、シェオールで休んでいて、サウルが彼を煩わせたのです。

サウルは言った。「私は困りきっています。ペリシテ人が私を攻めて来るのに、神は私から去っておられます。預言者によっても、夢によっても、もう私に答えてくださらないのです。それで私がどうすればよいか教えていただくために、あなたをお呼びしました。」

そして、サムエルが言うことを見てください。

16 サムエルは言った。「なぜ、私に尋ねるのか。主はあなたから去り、あなたの敵になられたのに。

17 主は、私を通して告げられたとおりのことをなさったのだ。主は、あなたの手から王位をはぎ取って、あなたの友ダビデに与えられた。

18 あなたは主の御声に聞き従わず、燃える御怒りをもってアマレクを罰しなかったからだ。それゆえ、主はきょう、このことをあなたにされたのだ。

19 主は、あなたと一っしょにイスラエルをペリシテ人の手に渡される。あす、あなたも、あなたの息子たちも私と一っしょになろう。

言い換えれば、「あなたは死ぬ。私は死んでいるが、明日、あなたは、私と一緒にいるのだ。」

そして主は、イスラエルの陣営をペリシテ人の手に渡される。」

20 すると、サウルは突然、倒れて地上に棒のようになった。サムエルのことばを非常に恐れたからである。それに、その日、一昼夜、何の食事もしていなかったで、彼の力がうせていたからである。

(第一サムエル 28:8~20)

私たちが見ているのは… それは預言者サムエルで、そして彼は、怒っていました。サムエルは怒っていた。死んだサムエルは、彼が休む場所にいました。それを、サウルが彼の休息を邪魔し、そして、シェオールの中でさえ、そこに感情や感覚があることが分かります。

ルカ 16 章。

19 ある金持ちがいた。いつも紫の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。

20 ところが、その門前にラザロという 全身おできの貧しい人が寝ていて、

- 21 金持ちの食卓から落ちる物で 腹を満たしたいと思っていた。犬もやって来ては、彼のおできをなめていた。
- 22 さて、この貧しい人は死んで、御使いたちによってアブラハムのふところに連れて行かれた。

ここで初めて、“アブラハムのふところ”という言葉が登場します。“チェック・アブラハム”これで分かります。そのシェオールの中には、アブラハムもいる場所があります。アブラハムは信仰の父で、その為、そこは彼にちなんだ名がついているのです。言い換えれば、信仰を持つ者がそこに行き、そして、この金持ちは、そこには行きませんでした。

金持ちも死んで葬られた。その金持ちは、ハデスでしみながら目を上げると、アブラハムが、はるかかなたに見えた。しかも、そのふところにラザロが見えた。

言い換えれば、一般的に死者が行く場所であるシェオールでは、明らかに、2つの場所があるのが分かります。信仰を持っていた人には、アブラハムのふところ、そして、苦しみの場所は…

- 24 彼は叫んで言った。

あの金持ちは叫んで言います。

「父アブラハムさま。私をあわれんでください。ラザロが指先を水に浸して私の舌を冷やすように、ラザロをよこしてください。

言い換えれば、ちょっとラザロを私に送って、水を持って来させてください。

…私はこの炎の中で、苦しくてたまりません。」

- 25 アブラハムは言った。「子よ。思い出してみなさい。おまえは生きている間、良い物を受け、ラザロは生きている間、悪い物を受けていました。しかし、今ここで彼は慰められ、おまえは苦しみもだえているのです。
- 26 そればかりでなく、私たちとおまえたちの間には、大きな淵があります。ここからそちらへ渡ろうとしても、渡れないし、そこからこちらへ越えて来ることもできないのです。」

(ルカ 16:19~26)

要するに…これはすごいです。死んだ人、すべてが行く場所があります。苦しみの場所。これは、あなたが行くべき場所ではありません。それから、当時、あなたが生きていたなら、おそらく行きたいと思う場所、信仰の父であるアブラハムのふところ、腕の中です。言い換えれば、私たちが、今、この人生で行うすべてが、私たちが死ぬ時の居場所を決定します。また、その時、あなたには物事を修正したり、物事を変更することはできません。

ですから、旧約聖書の時代は、すべての人がシェオールに下り、他の選択肢はありませんでした。ただ、シェオールに下るのみです。そこで問題は、シェオールのどこなのか？アブラハムのふところの中、それとも苦しみの場所？明確にしておきます。シェオールは、神の手が届かない場所ではありません。神は、生きている者や、地上や天国にいる人だけの神ではありません。詩篇 139 篇 8 節で、ダビデは言います。

- 8 たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみ（シェオール）に床を設けても、そこにあなたはおられます。

(詩篇 139:8)

神はどこにでも居られます。

さて、私たちはまた、次の事も覚えておく必要があります。人間とは別に、主に仕え、また罪に陥った被造物の存在は他にもあります。彼らのためには、シェオールの下に他に 2 つの場所があります。「アビス」これは、ギリシャ語で「ἄβυσσος」(アブソス) ヘブライ語では「תְּהוֹמִים」(テホム)」で、「底知れぬ所」です。そして、その場所の御使いは「Ἀβαδδών (アバドン)」と呼ばれ、ギリシャ語では「Ἀπολλύων (アポリュオン) / 破壊」です。ここはまた、反キリストが投げ込まれる場所でもあります。そして、大患難の時期、悪魔がこの場所から現れます。だから、アバドン、そのアビスは、下の領域にあって、その場所でも、活動があります。彼らはそこへ下って行ったり、そこから上って来る事が出来、それは人間ではない墮落した生き物のための暗い場所です。覚えていますか？ ルカ 8 章。

30 イエスが、「何という名か」とお尋ねになると…

ガリラヤ湖の向こう側で、主が悪霊に取り憑かれた男を癒された時です。

…「レギオンです」と答えた。悪霊が大ぜい彼に入っていたからである。

31 悪霊どもはイエスに、底知れぬ所に行け、とはお命じになりませんようにと願った。

(ルカ 8:30-31)

そこは、彼らが出てきた場所です。そして、彼らはそこに戻りたくなかった。



しかし、もう一つ、新約聖書にのみ現れる、別の言葉があります。第二ペテロ 2 章です。その用語は、「τάρταρος (タルタラス)」と呼ばれ、非常に悪魔的な用語です。タルタラスは、アビスとは異なり、創世記 6 章の、反逆した御使いのためだけの場所です。反逆した彼らは、裁きの日が来るまで鎖でつながれ、拷問されています。彼らは上って来なければ、彼らは下りる事もなく、彼らは、そこで鎖につながれています。そして、第二ペテロは

言います。

4 神は、罪を犯した御使いたちを、容赦せず、地獄に引き渡し…

ギリシャ語で“タルタラス”。これは、地獄とは異なる名前、アビスとも異なる名前です。また、これは“アブラハムのふところ”や“苦しみの場所”とも異なる名前です。

…さばきの時まで暗やみの穴の中に閉じ込めてしまわれました。

(第二ペテロ 2:4)

このように、旧約聖書を通して、イエスの時代まで、人が死ぬ時、聖なる神の御前に立つ事は、絶対にありませんでした。彼らは皆下だり、アブラハムのふところに行く人もいれば、他の人は苦しみの場所へ行きました。それから、“アビス”という悪霊のための場所があり、そして、最後には反キリストもまた、そこへ行きます。それから、“タルタラス”があって、そこは創世記 6 章の御使いたちが、来るその日まで鎖でつながれているところ、イエスが死に、復活された時、何がありましたか？この時、流れが変わりました。ルカ 23 章 43 節。

43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

(ルカ 23:43)

イエスは、隣で十字架につけられた強盗に言っています。

「あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

さて、多くの人々が、パラダイスとは天国を意味すると誤解しています。彼らは、誤解して、イエスが天国に上がり、ほんの数秒前に主を信じたその人を一緒に連れて行ったと考えています。しかし、皆さん、ご存知でしたか？“パラダイス”は、ヘブライ語の“パラデス”という言葉から来ていて、それは、天国とは全く関係なく、それは、この地上の園と深い関係があるのです。もしイエスが昇天していないとすれば…主は、実際、下って行かれました。それなら、明らかにパラダイスは、天国にはありません。そして、人が復活できる唯一の場所は、アブラハムのふところのです。ですから、そこが、イエスが行かれた場所で、そして、あの良い強盗も主と一緒にいました。

マタイ 12 章 40 節 は言います。

40 ヨナは三日三晩大魚の腹の中にいましたが、同様に、人の子も三日三晩、地の中にいるからです。

(マタイ 12:40)

イエスは、十字架につけられた時、天国に上げられたわけではありません。主は、死んだ瞬間… なんと、旧約聖書では、みんな、どこに行きましたか？パラダイス。これは、“パラディッソ”、“アブラハムのふところ”の別名です。

詩篇 16 篇は言います。

10 まことに、あなたは、私のたましいをよみ（シェオール）に捨ておかず、あなたの聖徒に墓の穴をお見せにはなりません。

(詩篇 16:10)

これは、メシア詩篇です。主は、たった一つの目的の為に、そこに居られたのです。彼は、その 3 日間、そこで何をされたのか？彼は、園でエバに与えられた、約束を果たされたのです。メシアの勝利です。覚えていますか？

だから、第一ペテロ 3 章は告げているのです。

18 キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、私たちを神のみもとに導くためでした。

19 その霊において、キリストは捕らわれの霊たちのところに行って、みことばを語られたのです。

(第一ペテロ 3:18~19)

下に下っている、従わなかった霊たちは、すでに目撃しています。エデンの園で、サタンがエバを欺いた時、覚えていますか？創世記 3:16 で、最初の預言が与えられました。「いずれ、女の子孫が、蛇の頭を踏み砕く。」そして今、彼らはその成就を見ます。

そして、イエスが復活した時、どうなったか。エペソ 4:8-10 には、こうあります。

8 そこで、こう言われています。「高い所に上られたとき、彼は多くの捕虜を引き連れ、人々に賜物を分け与えられた。」

9 ——この「上られた」ということばは、彼がまず地の低い所に下られた、ということではなくて何でしょう。

10 この下られた方自身が、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上られた方なのです——

(エペソ 4:8~10)

アブラハムのふところの中にいた人すべて、信仰の人はすべて、主の復活の時、また、解放され、聖なる神の御前に行きました。なぜか？ なぜなら、対価が支払われたからです。罪は、ただ翌年まで覆われるのではありません。罪の問題は解決され、今や信仰の人は、その流された血潮を通して、義とされ、聖なる神の御前に立てるようになりました。したがって、イエスの復活後、もはや、アブラハムのふところには、誰も居ません。そして、「**肉体を離れて、主のみもとにいる**」（第二コリント 5:8）と、はっきり言う事が出来ます。

ステパノが殉教した時の言葉を覚えていますか？

55 **しかし、聖霊に満たされていたステパノは、天を見つめ、神の栄光と、神の右に立っておられるイエスとを見て、**

56 **こう言った。「見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。」**

(使徒の働き 7:55~56)

イエスが復活された時、信者は、もはや下を向くのではなく、上を見なければなりません。あなたが行くところは、もはや、下方ではなく上方です。そしてステパノは、見上げる事が出来、そして、彼にはその様子が見えたのです。これが、永遠に違いを生み出す為に、私たちの生きるべき人生です。あなたは、どこに向かっていますか？下向きですか？ それとも上向きですか？ 私たちのために死んでくださった方の、完成した御業に対するあなたの信仰はどこにありますか？ 私たちが犯した罪のために必要なすべてを成し遂げてくださった方ですか？ それとも、私たちは自分自身を信頼し、私たちのお金、知恵、富、健康を信頼するのですか？ これらは、どこにも繋がりません。今のあなたの人生が、あなたが最終的に行く方向を決定するのです。上向きか、それとも下向きか。それが、私たちが自問すべき問いです。

死者は、生き返ることができるのか？それがここ、私たちが今立っている場所です。ご覧ください。死海。この死海が生き返る、と聖書は言います。エゼキエル 47 章 8 節~12 節。

8 **彼は私に言った。「この水は東の地域に流れ、アラバに下り、海に入る。海に注ぎ込むとその水は良くなる。**

見てください。塩分濃度 33%、ここでは何も成長できません。全く何も。ここでは 1 匹も魚が見つかりません。しかし、これを見てください。あの、エルサレムから流れ出る川の水が…

海に注ぎ込むとその水は良くなる。

9 **この川が流れて行く所はどこでも、そこに群がるあらゆる生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる。この水が入ると、その水が良くなるからである。この川が入る所では、すべてのものが生きる。**
10 **漁師たちはそのほとりに住みつき、エン・ゲディからエン・エグライムまで網を引く場所となる。その魚は大海（地中海）の魚のように、種類も数も非常に多くなる。**

少し前に、キリスト教徒のグループがこの地元自治体に来て、釣りの許可証を買いたいと言いました。この人々は、笑いそうになり… 当然、顔には出しませんが、彼らは言いました。

「あなた方もご存知の通り、ここでは何も育ちません。」

すると、それらのクリスチャンは言いました。「しかし、あなた方の聖書が、そうなると言っています。」

「あなた方の旧約聖書の中、あなた方の預言者である、エゼキエル書の中にあります。」

その日、エルサレムから湧き水が流れ出て、死海の水を癒し、それに命を与えるという約束。死から命です。死者は、生き返ることができます。そして、唯一必要なものは、いのちの川だけ。なぜ、私はそれを言っているの

か？死海が、いのちの川によって生き返るなら、あなたも、生き返る事が出来るのです。いのちの水を与えてくださる方への信仰によって。死者には見え、死者は感じる事が出来、死者は理解出来ます。しかし、死んでからでは、手遅れなのです。なぜなら、その時、あなたは見て、感じ、理解する事は出来ても、あなたには、何も変更することはできません。だから、あなたがまだ生きている間に、主を信じてください。そしてあの、いのちの水の川を、あなたから流れ出させるのです。それが、あなたを完全に変えるでしょう。死海が、生き物の住む生きた湖となるのと同様、あなたの心も、石の心から肉の心になって、あなたの魂も、復活することができます。もしあなたが、イエシュア、私たちの救い、主を信頼するならば、あなたの人生が変わり、永遠の命を持つことが出来るのです。そして、主が仰った通り、

38 わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。

(ヨハネ 7:38)

2021年5月29日 初回公開

【写真出典一覧】

・ダグ・ハマーショルド Wikipedia「ダグ・ハマーショルド」




スマートフォンなどのカメラで読み込むと、このメッセージを YouTube で見られます。

◀リンク先 : <https://youtu.be/3HY9QIACtsI> ▶



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel

<https://beholdisrael.org>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル 

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

